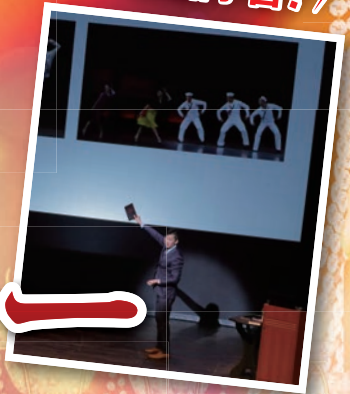


500
ONE GOLD
PRE LECTURE

MERRY
WIDOW

佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ2021関連企画

楽しむ
詳しく
作品予習!!



レハール作曲 喜歌劇 **メリー・ウイドウ** **ワンコイン プレ・レクチャー**

過去のプレ・レクチャー「オン・ザ・タウン」
©飯島 隆

この夏にお贈りする、
喜歌劇『メリー・ウイドウ』の音楽的魅力や作品に隠された**秘密**を、
作品を知り尽くした講師によって**わかりやすく**解説します。

第一回

**舞台の裏を知る演出家が教える
「オペレッタの愉しみ方!」** 生演奏つき

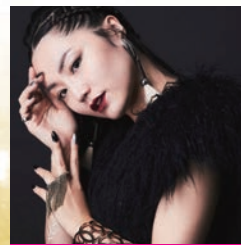
2021 **5.26** (水) **11:30AM開演 / 2:30PM開演**
(各回開場45分前・90分・休憩なし)

明るく楽しい喜歌劇『メリー・ウイドウ』ですが、その中には私たちの知らない秘密や仕掛けがいっぱい。舞台の裏側を知る演出家だからこそその視点で、オペレッタの愉しみ方を解説します。また、今回は本公演で主役ハンナ役としてプロデュースオペラ初登場の高野百合絵さんが、ひと足早く作品の名曲を披露。お話と歌も聴けて、とってもお得な90分です。



講師

中村敬一
(演出家)



ゲスト

高野百合絵
(本公演ハンナ役)

掛川歩美(ピアノ)

第二回

『メリー・ウイドウ』とウィーンの世紀末 映像つき

2021 **6.24** (木) **11:30AM開演 / 2:30PM開演**
(各回開場45分前・90分・休憩なし)

喜歌劇の傑作として名高い『メリー・ウイドウ』。すじがきの上では「パリ」が舞台ですが…、実際にこの作品が書かれ、初演されたのはウィーンです。数百年にわたるハプスブルク家の支配が終わりを迎える中、様々な「世紀末文化」が最後の光芒を見せていた伝統の帝都。そのような時代や街から、『メリー・ウイドウ』はどのような影響を受けて産声をあげたのでしょうか。音楽だけでなく、美術や建築などの話題も交えながら、お届けします。



講師

小宮正安
(ヨーロッパ文化史・
ドイツ文学研究者)

兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール 〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22
阪急西宮北口駅南改札口すぐ/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

ご予約・お問合せ **芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255** 【10:00AM-5:00PM 月曜休み
※祝日の場合翌日】

全席指定 **500** 円(税込)

2021
3/12
発売

チケット
取扱

●芸術文化センター 0798-68-0255 <http://www.gcenter-hyogo.jp>
芸術文化センター2階総合カウンター [3/13(土)より、残席がある場合のみ]
●イープラス <http://eplus.jp> ●チケットぴあ <http://pia.jp/t/> ●ローソンチケット <http://l-tike.com>



兵庫県立
芸術文化センター

《チケットご購入のお客様へお願い》新型コロナウイルス感染予防対策にご協力をお願いします。

※芸術文化センターでの購入時には、来場者情報把握のため、先行予約会員(無料)へのご登録をお願いしております。なお、チケットのご購入はお一人様2枚までとさせていただきます。 ※プレイガイドでの販売はインターネットのみとさせていただきます。取扱いについては各プレイガイドにお問合せください。
※37.5℃以上の発熱がある方は入場をお断りさせていただきます。 ※マスクを着用されない方は入場いただけません。(マウスシールド不可) ※感染の再拡大等により、公演の中止や、出演者、公演内容、座席配置等が変更となる場合がございます。

ご来場前にウェブ
サイト掲載の(当
センターをご利用
のお客様へ)をご
確認ください



『メリー・ウイドウ』を100倍楽しむために ワンコイン・プレ・レクチャー

作品の魅力は「美しい旋律」や「心奪われる物語」だけではありません。一度聴いただけではわからない沢山の魅力が作品には込められています。知りたくなったあなたは、迷わずプレ・レクチャーへ。きっと素敵な世界が広がりますよ。

中村敬一 [演出家] Keiichi Nakamura

はじめ声楽家を志し、武蔵野音楽大学同大学院で声楽を専攻、その後、舞台監督集団「ザ・スタッフ」でオペラスタッフとして活躍。以後、鈴木敬介、栗山昌良、三谷礼二、西澤敬一各氏のアシスタントとして演出の研鑽を積む。1989年より、文化庁派遣在外研修員として、ウィーン国立歌劇場にて、オペラ演出を研修。帰国後、リメイク版「フィガロの結婚」で、高い評価を得、続く二期会公演「三部作」、東京室内歌劇場公演「ヒロシマのオルフェ」、日生劇場公演「笠地蔵・北風と太陽」で、演出力が絶賛され、1995年、第23回ジローオペラ、新人賞を受賞する。また、2000年3月には新国立劇場デビューとなった「沈黙」が、高く評価される。2001年ザ・カレッジ・オペラハウス公演「ヒロシマのオルフェ」では、大阪舞台芸術奨励賞を受賞。オペラの台本も手がけ、松井和彦作曲「笠地蔵」「走れメロス」、新倉健作曲「ボラーノの広場」、「窓(ウインドウズ)」などがある。国立音楽大学客員教授、洗足学園音楽大学客員教授、大阪音楽大学客員教授、大阪教育大学講師、沖縄県立芸術大学講師。



高野百合絵 [メゾ・ソプラノ] Yurie Takano

富山県出身。東京音楽大学付属高等学校、大学、及び大学院を首席で修了。第65回全日本学生音楽コンクール全国大会第1位、併せて日本放送協会賞受賞。第21回日本クラシック音楽コンクール全国大会第1位、併せてグランプリ賞受賞。第84回選抜高校野球大会開会式、第71回全日本大学アメリカンフットボール大会決勝戦「甲子園ボウル」で国歌独唱。2015、2017年天皇皇后両陛下御臨席のもと御前演奏を行う。2018年日生劇場オペラ「コジ・ファン・トゥッテ」(広上淳一指揮、菅尾友演出、読売日本交響楽団)ドラベッラ役を在学中にオーディションで射止め、華のある舞台姿と存在感で観客を魅了。また、オーケストラアンサンブル金沢、関西フィルハーモニー管弦楽団、ルーマニア国立シヨルジュ・エネスコ・フィルハーモニー交響楽団など国内外のオーケストラと第九や宗教曲等のソリストを務める。NHK BS8K「ルーブル美術館 美の殿堂の500年」音楽:千住明オリジナル・サウンドトラックに参加(avex classics)、2020年デビューアルバム「CANTARES」を日本コロムビアよりリリース。



掛川歩美 [ピアノ] Ayumi Kakegawa

お茶の水女子大学音楽科卒業、同大学院博士前期課程修了。第7回「長江杯」国際音楽コンクール入選。第11回泉の森フレッシュコンサート並びに泉の森フレッシュガラコンサート出演。大学主催の推薦新人演奏会出演。関西二期会、河内長野ラプリーホール、びわ湖ホール、堺シティオペラ、ミラマーレ・オペラ、みつなかオペラ等にてピアニスト、並びにコレパティトゥアを務める。最近では数少ないレチタティーヴォを指導出来るチェンバリストとして、モーツァルトやドニゼッティなどのオペラで活躍。ピアノでのオペラ全曲公演の機会も多い。またオーケストラの音色をピアノで奏でる伴奏が好評を得て、多くの歌手を支えるリサイタルピアニストとしてもキャリアを積む。これまでに、浦史子、芝令子、岩瀬彩、小坂圭太、服部容子の各氏に師事。



小宮正安 [ヨーロッパ文化史・ドイツ文学研究家] Masayasu Komiya

横浜国立大学(大学院都市イノベーション研究院・都市科学部)教授。著書訳書に、『チャールズ・バーニー音楽見聞録 ドイツ篇』『音楽史 影の仕掛人』『オーケストラの文明史 ヨーロッパ3000年の夢』(春秋社)、『ウィーン・フィル コンサートマスターの楽屋より』(アルテスパブリッシング)、『コンスタンツェ・モーツァルト 〈悪妻〉伝説の虚実』(講談社選書メチエ)、『名曲誕生 時代が生んだクラシック音楽』(山川出版社)、『モーツァルトを「造った」男 ケッヘルと同時代のウィーン』(講談社現代新書)、『愉悦の蒐集 ヴンダーカンマーの謎』(集英社新書)など多数。NHKテレビ・ラジオ「ウィーンフィル・ニューイヤークンサート」のコメントーターをはじめ、演奏会のナビゲーター、各種雑誌への寄稿など幅広い分野で活躍している。



喜歌劇
メリー・ウイドウ
— あらすじ —

舞台は華の都パリ。とある架空の小国(ポンテヴェドロ)の公使館ではパーティーが催されている。国をもゆるがす巨万の富を相続した“陽気な未亡人”(メリー・ウイドウ)ハンナの登場で遺産相続騒動の火蓋が切られる。金を目当てにハンナに群がる男たち。一方、妻ヴァランシエンヌの浮気には全く気づかない公使のツェータ男爵は、財産の国外流出を阻止すべく、かつてハンナと恋仲だったダニロを彼女にひっつけようとする。たちまち恋の残り火は燃え上がるが、なかなか素直に好きとは言えないふたり。はたして、大人の恋の結末は…?

かつて恋人同士 → ハンナ (大富豪の未亡人) と ダニロ (大使館書記官)

↑ ハンナと結婚するよう画策

夫婦 → ヴァランシエンヌ (ツェータの妻) と ツェータ男爵 (ポンテヴェドロ公使)

↓ 愛人関係

カミーユ (パリの伊達男)

7/16、18、21、24



ハンナ・グラヴァリ 高野百合絵
ヴァランシエンヌ 高橋 維
ダニロ・ヴィッチ伯爵 黒田祐貴
カミーユ・ドロシオン 小堀勇介

7/17、20、22、25



ハンナ・グラヴァリ 並河寿美
ヴァランシエンヌ 市原 愛
ダニロ・ヴィッチ伯爵 大山大輔
カミーユ・ドロシオン 樋口達哉

The MERRY WIDOW 喜歌劇 メリー・ウイドウ

佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ2021

全3幕 / 日本語上演・日本語字幕つき / 改訂新制作

【音楽】フランツ・レハール
【台本】ヴィクトル・レオン、レオ・シュタイン
【指揮】佐渡 裕 【演出】広渡 勲

【全8公演】2021 7/16(金) 17(土) 18(日) 20(火) 21(水) 22(木・祝) 24(土) 25(日) 各日2:00PM開演

発売日 B・C・D・E席 3/12(金) A席 3/13(土)

兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール A12,000円 B9,000円 C7,000円 D5,000円 E3,000円 (消費税込/全席指定) 主催/兵庫県、兵庫県立芸術文化センター(企画・制作)

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口すぐ/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分) 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255 [10:00AM~5:00PM 月曜休※祝日の場合要旨] http://www.gcenter-hyogo.jp